

令和4年第10回  
周防大島町教育委員会会議 議事録（要点筆記）

- 1 日 時  
令和4年11月28日（月） 8時55分～9時14分
- 2 場 所  
周防大島町役場大島庁舎2階 庁議室
- 3 出席委員  
星野教育長、沖広委員、國行委員、柏谷委員
- 4 事務局出席者  
木谷教育次長、小泉総務課長、山根学校教育課長、木嶋社会教育課長、  
中村総務班長
- 5 欠席者  
大沼委員
- 6 傍聴者  
なし
- 7 調整者書記  
中村総務班長
- 8 議事録署名委員の決定  
沖広委員及び柏谷委員
- 9 議題及び議事の概要、質問または討論をした者の職及び要旨
  - (1) 議案第1号 周防大島町教育改革センター設置規則の制定について  
説明者：学校教育課長  
質疑・意見等  
(委員) この改革センターは、ICTと部活動等働き方改革に重点を置いて設置するものと捉えてよいかという質疑。  
(事務局) 中学校部活動の改革に関わる研究やICT活用研究を行う調査研究部門、新たな人材育成の研究を行う人材育成部門、子どもたちが地域とともに未来の周防大島を考えていく地域未来部門の3部門を作り、周防大島町教育のさらなる発展につなげていこうと考えている旨説明。  
(委員) 様々な問題が発生したときに、教職員だけでなく保護者の相談体制の充実に重点を置いて取り組んでいただきたいという要望。  
(事務局) 保護者支援や教職員の授業力のアップ等も含め相談する、相談に乗る力も必要であり、相談体制の充実に図りたい旨説明。  
(委員) このセンターに主任2名を置くのかという質疑。  
(事務局) 部活動の地域移行に向け、コミュニティ・スクールの機能を活用しながら進めていく必要があり、研修・取り組みを行いながら部活動改革をするために主任1名、子どもたちのタブレット端末を一元管理し、

安心安全に使用していくためにICT主任1名を置く旨説明。

(委員) 人材育成に力を入れていくということで、ミドルリーダーの養成の研修等大変なことも多いと思うが期待したいという意見。

(事務局) 本町は小規模校が多いため少人数で一人ひとりに支援ができる環境であり、大島で先生方の人材育成を行い、また大島に帰って本町の教育に尽力していただけるよう取り組んでいく旨説明。

(委員) シンクタンク的な役割を持った組織ができることは良い取り組みだと思ふという意見。

(事務局) このセンターを核として人づくり・地域づくりに取り組んでいくような形が理想と考える。目的意識をしっかりと持ち地域・保護者を巻き込んで子どもたちを育てていくため、調査研究を行い、実践していきたいと思ふ旨説明。

(委員) 地域の方と共有できるシステム等は何か考えているかという質疑。

(事務局) 教育改革センターを設置し、周防大島町の進む道を保護者や地域に周知することは必要であり、その核となるのが地域未来部門であると考える。地域に支援していただけるようコミュニティ・スクール等の機能を使い周知を図っていく。すぐに成果は出ないと思ふが、数年たちこの改革センターができて良かったと思えるよう全員が工夫していきたい旨説明。

教育長 議案第1号について承認いただけますか。

委員 承認。

## 10 議決事項

議案番号	内 容	議決結果	議決日
議案第1号	周防大島町教育改革センター設置規則の制定について	承認	令和4年11月28日

(教育長) 以上で、教育委員会を閉会します。